

国際交流員通信

Сайн байна уу
サインパイノー!
(モンゴル語で「こんにちは」)

スな丑年と言われています(モンゴルでは血液型より十二支にこだわります)。趣味はカラオケと運動です。カラオケでは、シブイと言われながら石川さゆりさんの演歌をよく歌います。最近、ウォーキングにはまり、マールビーチを一人で歩く事が多いです。日本食は何でもOK、好き嫌いはありません。

来日して7年目、泉佐野市に来てから1年3ヵ月経っています。好きなことわざは、「郷に入っては、郷に従え」です。

●出身地

出身はモンゴル国トゥブ県(中央県)のツェール郡です。トゥブ県はモンゴルの21県のひとつ。ツェール郡は首都のウランバートルの北部に180km離れた場所に位置します。岩山に砂漠、草原に小麦畑が広がる田舎です。ツェール郡の面積は約165.63km²、人口は2,500人(そのうち遊牧民は800人)ですが、家畜は13万8600頭もいます。

▶小麦畑が広がる
ツェール郡の風景



はじめまして!

2015年10月から泉佐野市の国際交流員として勤務しております、バーサンフー・オユンゲレルと申します。(オギーと呼んでください。)

名前の意味は「オユン=知恵、ゲレル=光」。知恵の光です。日本では、おらかなO型、モンゴルではマイペー



●泉佐野市の印象

初めて泉佐野市に来た時の印象は、“海を見ながら散歩できて良い町ですね”“泉佐野の人は明るくて、優しいな〜”でした。

●こんな国際交流員でありたい!

1人でも多くの泉佐野市民がモンゴル国やトゥブ県のことに興味を持ち、1人でも多くのトゥブ県民が泉佐野市のことに興味を持っていただくためにできるだけ頑張りたいです。

これからも泉佐野市でどんな出会いや経験が訪れるか楽しみです。みなさん、よろしくお祈りします。

市民公益活動団体紹介

NPOりんくうフォーラム

問合せ 市民協働課

2000年1月設立のNPOで、市民のパソコン教室、地域の国際交流活動を行ってきました。2008年より「当地検定」(泉州検定)を実施しています。

市民のパソコン教室を始めた頃はウインドウズ98、インターネットが普及した当初の時代でまだインターネット接続は電話回線で画面が表示されるのが遅く、いららしていた時代でしたが、著しい技術の進化によって今ではスマートフォンを無線でインターネットで接続して持ち歩ける時代になりました。カメラ、ビデオ、ゲーム機から買物の支払までがスマートフォン1台あれば済む便利な時代になりました。好きこそ物の上手なれと言ったことわざがあるように、パソコン、スマートフォン、カメラに興味を持つ市民が集まって学ぶ機会のための活動と位置づけています。

【主な活動】

●パソコンサークル

毎月2回、レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センターのクラブ「デジタルアイシテイクラブ」でスタッフ講師によるパソコンサークルを行っています。パソコン、スマートフォン、SNS、デジカメ、ビデオ編集などに興味のある人のサークルです。



●国際交流

田尻町にある関西国際交流センターの日本語研修生を支援する活動を行っています。ホームステイ、ホームビジットの受入と毎年11月23日に行われる「ふれあい交流祭り」にブースを出しています。

●当地検定

堺市から泉南郡岬町までの泉州地域を知ってもらうために毎年春・秋の2回、泉州検定を実施しています。詳しくは泉州検定のホームページ(<http://www.rinku.org/sk.htm>)をご覧ください。

【ホームステイ・ホームビジット受入ファミリー募集】

国際交流センターの日本語研修生のホームステイ、ホームビジットを受け入れていただける家庭を募集しています。研修生は日本語能力があるので特別な語学知識は不要です。

問合せ NPOりんくうフォーラム (Fax 461-0844 eメール: info2@rinku.org ホームページ: <http://www.rinku.org> フェイスブック: www.facebook.com/rinkuforum)



▲facebookのQRコード

